専 大 000 020 020=4 駒 大 000 000 000=0

打安点

(6) (5)福

Η

(9)(3)Ш

H3

(7)青 米 (4)

H4

(2)

(8) 小

白

DH永

恒

高

前 田 300

長谷川 300

山 200 伊藤俊 100

合 100

JIJ 100

山 300

地 300

JII 310 計 2610

永 8 3362

1 300

銀

文・写真:常木寛哉

第3週

200

100

回 打安責

回戦

2015 年度秋季リーグ戦

0勝2敗

9月16日

満

石

高橋亮 300

2015 年度秋季リーグ戦 第3週 9月15日

0勝1敗

キロを超える直球とキレ先発の今永は序盤、140 を抑える。 のある変化球で専大打線

見えたが、8回には2点 を取り戻したかのように 求められる立場なので、 まだだと思った。結果が 本塁打を浴び降板。「まだ チをしのぎ、本来の投球 てしまう。 失策の間に先制点を許し 球で一死満塁とされると、 で好機を作るも相手投手 しっかり投げたい」と悔 しさをにじませた。 しかし5回、安打と四 方の打線は、四死球 その後のピン

> だつもりだったが、自分 った。 たちの野球ができなかっ 頑張ってほしい」と中軸 4)は「春と同じ負け方だ 5番はチームの柱なので 、の期待を語った。 西村亮監督は「3・4・

けで初戦を落とした。

阻まれ得点につながらず、完封負 好機を作るも相手投手の好投に を許してしまう。一方の打線は、 無失点で抑えたが、中盤以降得点 った今永昇太(経4)は序盤こそ

専大との初戦、今季初先発とな

を打ち崩すことはできず、

1安打に沈んだ。

た」と振り返った。 また、巻木周平主将(経 対策を立てて臨ん

> (6) 前

> (5) 福

> (8) 小

> > 計

打安点

山 300

田 300

大 100 000 000 =1 大 010 001 $00 \times = 2$

【右】昨秋以来の登板とな

打線つながらず

敗で勝ち点落と

勝ち点を落とした。

野手選択で一死満塁の ンチを迎えると、 橋由弥(経2)は、 りる。後続を任された高 打を浴び、マウンドを降 6回裏、 の間に三塁走者が生環 東野は連続安 捕手の

> りやらないとこの先も苦 ういったところをしっか

のは急には改善できない。

接戦をものにするならそ

文=高橋晶子 しい」と語った。 前適時打で先制する。 ら永山慶志郎(経4)の すると、二死1・2塁か 滉平(法4)が四球で出塁 初 回 先頭打者の前田

し勝ち越しを許してしま

内野ゴロの間に同点に追 たが、二回裏、 いつかれてしまう。 球で一死満塁とされると、 に安打を浴び、 かと感じさせる展開だっ このまま流れが来る 先頭打者 犠打と四

> う。 なかった。 勝ち点を取ることはでき 投を前に2安打に沈み、 あったが、相手投手の好 追いつきたい打線

ミスを指摘。「打力がない する」と、犠打と併殺の で弱さを出している気が 西村亮監督は「勝負際

発、東野龍二(商2)であったが、5 制点を挙げる。 打線も追加点には至らず、二連敗で 安打を許し5回13を2失点で降板。 H3 巻 木 100 長谷川 (9) 100 回 戦、 H3 恒 Ш 100 R5 林 慧 000 駒大は幸先よく初回に先 (3)川 合 200 打線に応えたい先 島 田 100 R9 DH 永 山 311 青 地 (7)300 Н 高 石 100 米 (4)満 310 高橋亮 (2)300 100 岡 田 Н

左

先制打を放った永山 回 打安責 野 51/3 2552 高橋由 22/3 1000

2821

JII 200